

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 17 日作成)

委員会名	都市防災支援システム小委員会	主 査 名：濱本卓司
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会(海洋研究推進運営委員会)	委員長名：登坂宣好
設 置 期 間	2004 年 4 月～2008 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	現在,日本の大都市は自然災害と人為災害の両面で世界的にも高い潜在リスクを有している。これからの世代が都市で安心して暮らせるようにするには,このリスクを有効に低減するための基本方針の構築が不可欠である。日本の大都市のほとんどは海に面しているにもかかわらず,従来の都市防災において,海域利用の視点はまだ十分な認識が得られていない。本小委員会では,海域利用により日本の大都市のリスクが有効に低減できることを定量的に評価し,陸域のみでの問題解決とは異なる視点を提供する。	
委員構成 (委員名(所属))	主査:濱本卓司(武蔵工業大学),幹事:遠藤龍司(職業能力開発総合大学校),委員:大塚清敏(大林組技術研究所),加村久哉(JFE 技研),近藤一夫(広島大学),新宮清志(日本大学),関洋之(梓設計),高橋利恵(前橋工科大学),中西三和(日本大学),福住忠弘(神戸大学),藤田謙一(アイ・イー・エム),矢代晴実(東京海上火災保険)	
設置 WG (WG 名:目的)	とくになし	
2004 年度予算	85,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第 1 回:日時:2004 年 10 月 29 日(金)15:00~17:00,出席者数 8 名 第 2 回:日時:2004 年 12 月 15 日(水)15:00~17:00,出席者数 7 名 第 3 回:日時:2005 年 3 月 15 日(火)15:00~17:00,出席者数 8 名
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 第 1 回:主査より本年度から 4 年間継続される海洋委員会の全体活動テーマの説明があり,そのテーマのもとでの各委員の活動分担案(10 項目)が紹介され,討議した。 第 2 回:各委員の活動分担に関して継続討議を行った。分担案に対しいくつかの意見が出されそれぞれについて検討し,次回,活動分担を決定することとした。 第 3 回:各委員の活動分担を決定した。第 1 回るとき主査から提案された 10 項目のグループ分けを縦軸、地震、津波等のリスク要因を横軸とする作業分担マトリクスを作成した。 委員会 HP アドレス:
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 海洋委員会統一テーマ「アダプティブ海洋建築」のもとにおける当小委員会の役割分担を明確化し,さらに具体的な作業を進めるための各委員の分担を決定した。高いレベルのコンセンサスとコラボレーションのもとに活動を進める下地ができた。
その他評価すべき事項	とくになし